NEXT21自然のたより 6月

No. 6　　2012年6月1日

NEXT21は渡り鳥の休憩所
5/10 センダイムシクイを発見!!

NEXT21 にオオルリ・キビタキ・メボソムシクイなど、春・秋の渡り鳥が通過していることは、日本野鳥の会本部による第一フェーズの調査で、確認されていました。

今回屋上調査を開始し、渡りの小鳥がでてくるといいな！と思っていましたが、5／10 ついに屋上庭園コナラの樹冠に**ムシクイを発見!!!** **センダイムシクイ**が1時間ほど休んでいきました。

1 樹間はスズメのお宿？

スズメの幼鳥

前述のように NEXT21 屋上庭園のコナラに、越冬地（東南アジア）～繁殖地（日本の山地）に移動途中のセンダイムシクイがいました。

このコナラの木や、エコロジカルガーデンのエノキでは、樹間の小枝に近隣で巣立ったと思われるスズメの子供たちが、「日がな一日」鳴き交わしながら、親鳥が運んできてくれる餌を待っている。親鳥が餌を持ってきたときの喜びようは一通りでなく、樹間に幼鳥の声が響き渡っている。

2 アゲハチョウ

アゲハチョウ

NEXT21 では蜜源となる花が次々咲くことから、チョウが良く飛んでくる。

屋上庭園にアゲハチョウの食樹（幼虫の餌）のミカンがあり、食住近接のスポットとして、アゲハチョウの巡回ポイントになっていると思われる。

3 センダン　センダン科

樹形:落葉高木
花　:5月中～下旬
場所:屋上庭園(西・東)

120425センダン・昨年の実

120524センダン・今年の花

120524センダン・屋上庭園西館

NEXT21 屋上庭園にセンダンの大木がある。たわわに実ったセンダンの実を冬の間、ツグミ・ヒヨドリ・ムクドリなどの餌場となるが、今年は冬鳥が少なかった影響から、センダンの実が春まで残ってしまいました。そんな中で季節は廻り、花が咲き始めました。

今度の冬はセンダンの実が2 月に食べつくされるほど、冬鳥が来て欲しいと願っている。

特徴　栴檀は双葉より芳し

栴檀は発芽すぐの双葉の頃から芳香を放つように、将来大成する人物は、子供の時から人並みはずれて優れたところがあることのたとえ。

しかし、ことわざで言われる栴檀は日本でセンダンと呼んでいる添付写真の木ではなく、香木として利用されるインド原産の白檀(中国名が栴檀)である。

4. ヤマボウシ・ミズキ科

樹形:常緑高木
花　:5 月～6 月
場所:1F 入口付近

この季節、里山を歩くと真っ白く雪をかぶったような緑の集団、ヤマボウシの木に出会うことがある。NEXT21 の入口北西角・２F への非常階段の近くにあるヤマボウシは5／24 に満開となっていた。

特徴①ハナミズキとの違い　同類のハナミズキ(アメリカヤマボウシ)とよく似ているが、花びらのように見える総苞片の先が、ヤマボウシは尖っているのに対し、ハナミズキはくぼんでいるのでわかりやすい。

特徴②鄙(ひな)びた味　子供の頃ヤマボウシを「イツキ」と呼んでいて、ひもじい思いをしていた小学生には、おいしい最高のおやつであった。砂糖の甘さになれた今では、おいしさをほとんど感じないが、今年９月は童心に返って、実を賞味してみたいと思っている。

特徴③ヤマボウシの意　花の中央の丸い小さな蕾が集まっているのを**頭**、その周りの白い総苞を**頭巾**に見立てて「ヤマボウシ(山法師)」と名付けられた。

5. スイカズラ・スイカズラ科

スイカズラ　120524

スイカズラ黄花　120524

樹形：常緑つる性
花　：5 月～6 月
場所：屋上庭園
　　立体街路

NEXT21 では屋上庭園や立体街路を中心につる性の植物が植栽され、花はチョウやハナバチの吸蜜植物として、実は野鳥の餌として利用されている。その一種、スイカズラがあちこちで咲き、芳香を放っていた。

特徴①三つ名前

スイカズラは花の奥に蜜があり、それを吸ったことからつけられた種名である。**金銀花**とも呼ばれるが、写真からわかるように花の咲き初めは白色、すぐに黄色に変わり、同じ木に白花・黄花の両方が咲いていることによる。更に、**忍冬**（ニンドウ）の異名もあるが、常緑で冬も葉が落ちないためである。

特徴②黒い実はメジロが大好き　実がたわわのピラカンサに目もくれず、隣にあるスイカズラの黒い実にメジロが飛び付いていたのを、今冬、立体街路5Fで確認した。

（追記）ツキヌキニンドウ

北米原産の園芸種のツキヌキニンドウが、屋上への立体街路に植栽されている。写真で見られるように、花柄は葉の中を突き抜けて出ている。

ツキヌキニンドウ　120524